

傷病鳥獣をお持ち込みの方に

本日、傷病鳥獣を保護いただき、ありがとうございました。
 今後は、下記の趣旨を御理解いただき、御協力をお願いします。

新潟県では、平成2年度に紫雲寺町に愛鳥センターを設置するなどし、さまざまな傷病鳥獣の保護收容を行ってきましたが、

- ① 農作物に被害を及ぼす鳥獣を放鳥獣するため、苦情も寄せられています。
- ② 外来生物を放鳥獣することにより、生態系への影響が懸念されます。
- ③ 渡り鳥、希少鳥獣や絶滅のおそれのある鳥獣の保護等が求められています。

以上のことから、愛鳥センターでは次の傷病鳥獣の保護收容を見送り、
 原則として自然に任せていますので、今後、御理解、後協力をお願いします。

愛鳥センターでの保護收容を見送っている傷病鳥獣

- 有害捕獲数の多い動物及び施設的に收容できない動物
カラス、ドバト(カワラバト)、キジバト、スズメ、ムクドリ、ニホンザル、タヌキ、ツキノワグマ、カモシカ、ニホンジカ、イノシシ、モグラ類、ネズミ類
- 社会的・生態学的に問題となっている外来動物
 他都道府県で生態系への影響が報告され本県でも定着している**ハクビシン**、
 特定外来生物の**アライグマ**など
- 親鳥からの誘拐となるおそれがあり、育てることも難しい**ヒナ**
 ※詳しくは「ヒナを拾わないで!」キャンペーンをご覧ください。

新潟県愛鳥センター紫雲寺さえずりの里の保護例



コウノトリ (H17.3兵庫県コウノトリの郷に譲渡)



クマタカ(日本版レッドデータブック、絶滅危惧ⅠB)

新潟県愛鳥センター紫雲寺さえずりの里の收容数

○開設当初の状況

年度	鳥類	うち收容見送種	獣類	うち收容見送種	合計	うち收容見送種	收容した主な希少鳥獣等
H2	936	(313)	35	(19)	971	(332)	オオタカ、ハヤブサ、ハクチョウ等
H3	922	(325)	31	(20)	953	(345)	オオタカ、ハヤブサ、クマタカ、ハクチョウ等
H4	942	(367)	33	(26)	975	(393)	オオタカ、ヒシクイ、ハヤブサ、ハクチョウ等

○最近の状況

年度	鳥類	うち收容見送種	獣類	うち收容見送種	合計	うち收容見送種	收容した主な希少鳥獣等
H14	1359	(546)	70	(53)	1429	(599)	オオタカ、ハヤブサ、オオワシ、ハクチョウ等
H15	1367	(564)	82	(47)	1449	(611)	オオタカ、ハヤブサ、ヒシクイ、ハクチョウ等
H16	1183	(458)	76	(59)	1259	(517)	コウノトリ、オオタカ、クマタカ、ハクチョウ等

※新潟県内の農作物被害額 (H16)

(単位：百万円)

- 鳥類 …… ①カラス 191、②ムクドリ 68、③ハト類 20、④スズメ 20
 獣類 …… ①サル 90、②タヌキ 24、③クマ 15、④ウサギ 7

問い合わせ先

新潟県 環境企画課 鳥獣保護係 TEL 025-280-5152
 又は お近くの地域振興局健康福祉(環境)部

